



MARIST BROTHERS
INTERNATIONAL SCHOOL

2023

年次報告書

Copyright © All Right Reserved 2023, Marist Brothers International School.



WIDA™ International
School Consortium

目次

02

学校長からのメッセージ

03

MBISについて

05

学校のモットー

06

コミュニティ

08

学生データ

10

卒業生

12

認定・評価

14

生徒組織

19

数値データ

24

キャンパスマスタープラン

03

理事長からのメッセージ

04

学校の信念

06

MBIS Expectations/学校全体の学習成果/IB Learner Profile

07

教職員

09

PTA

11

ガバナンス

13

IB PYP and MYPに向けて

16

理事会

20

キャンパス再開発プロジェクト

26

プロジェクトのスケジュール



学校長からのメッセージ

2022-2023年度を通してマリスタのコミュニティに奉仕できることは光栄なことであり、私たち家族は、学業、芸術、スポーツ、サービス、リーダーシップを重視するコミュニティに温かく迎え入れられました。

娘のメイがインドネシアの学校からIB Diploma Programmeを修了するために転校した際に、素晴らしい先生方の指導を受けることができ、私たちはとても感謝誇りに思っています。また、思いやりに溢れ、協力的な生徒たちとともに、豊かな歴史と文化を持つインターナショナルスクールで学ぶことができたことを、私たちは嬉しく思っています。

2022-2023年度は、マリスタブラザースインターナショナルスクールの誇る73年の歴史の中で、転換期となる年でした。COVID-19の制限が少しずつ解除されている中、私たちは学習と成長を適応し、学校の新たな「通常運営」に移行することができました年間を通して、生徒たちはスポ

ーツ、芸術、奉仕活動、リーダーシップ等、様々な活動に取り組み、キャンパス内のイベントを通じてコミュニティが再び結集することができました。

成功している組織は、自分たちが設定した基準に達していないことにすぐに気づくため、成功に甘んじることはありません。2022-2023年のマリスタでは、自身やコミュニティの皆様、どうすれば改善できるかを問いかけてきました。認証評価 (WASC) と評価 (IB) のプロセスを通じて、私たちは学校のあらゆる側面を調べ、改善すべき箇所を特定しました



今後の4年間については、戦略計画、キャンパスマスタープラン、文書化されたアクションプランなど、明確な設計図がありますが、私たちのビジョンを実現するためにはまだ多くの作業が残されています。私たちは、学校コミュニティの全メンバーが変化と課題を受け入れ、協力して取り組む必要があると考えております。そうすれば、私たちは皆、活気あるグローバルな教育コミュニティの一員として恩恵を受けることができます。

ショーン・ハッチンソン

理事長からのメッセージ



Jun Yamaguchi - Board Chairperson

2022-2023年度は、5年間の戦略計画とキャンパスマスタープランの策定における重要なステップとなりました。マリリストにとって、近年の状況は、リーダーシップの交代やCOVID等、厳しいものでしたが、2022-2023年度は、優れた業績を持つ学校のレベルに引き上げることを目指す計画を立てる機会を設けてくれました。理事会は、これらの目標を達成するためには、施設や人材への財政投資が必要であることを認識しております。財務、人事、理事開発とガバナンス、戦略的計画、エンゲージメントといった

理事会の活動は、今年も戦略計画や策定において、重要な役割を果たしました。しかしながら、私たちは理事会としても、より発展と成長を遂げる必要があると認識しております。

今後、私たちは学校コミュニティに対して、理事会の役割や学校の将来の方向性や学校の更なる発展等についての意思決定のプロセスをより可視化するよう、努めます。また、学校長の評価方法について明確化することも目指しております。

この場をお借りして、今年度末に退任される理事メンバーにお礼を申し上げます。理事会のメンバーは、見えていない所で自発的に学校のために働き、時間と労力を割いて学校を支えています。2023-2024年度の初めに、新しく選ばれた理事会のメンバーを発表いたします。それまでは、地域の皆様が安全で楽しい夏休み休暇を過ごせることを祈っております。

MBISについて

2022-2023年度は、学校の指針を見直し、マリリストの海外のネットワークと再びつながり、持続可能な未来に向けた長期計画を策定を行っております。

私たちのミッション・ステートメント:

私たちは、人とのつながりを重視、尊重する環境で生徒たちを育てております。生徒たちは知識を身につけ、活発にコミュニケーションを取り、人間性を育成し、国際社会の責任ある一市民となります。生徒が社会に出る前に十分に備えられるよう、厳格なプログラムを通じて、私たちは世界を探求します。

私たちのビジョン・ステートメント:

私たちは、豊かな人間性と強い絆によって、興味のある分野で卓絵師、地域社会と国際社会に変化をもたらす機会を設ける学校です。内面的、社会的、そして精神面においてのサポートにより、本校は生徒たちに国際的な視野を養うことができます。多様性を受け入れ、リーダーシップを発揮し、マリストブラザーズの価値観と伝統を尊重する学校です。



学校の信念



卓越性:

日々の生活で常に卓越性を意識し、全ての行動において、常に改善を追求する。



革新:

問題解決のために、革新的かつ創造的なアプローチを追求する。



パートナーシップ:

永続的、かつ大切な絆を結び、多様性を尊重し、コミュニティとつながる。



ケア:

責任と尊敬の念を持ち、世界をより良い場所にするために常に自身の行動を振り返り、見直せる人になる





学校のモットー



Motivate:

学びとは、人生の旅



Inspire:

夢を追いかける者の後に続こう



Believe:

共に世界を変えよう



Succeed:

日本から世界へ

MBIS EXPECTATIONS/学校全体の学習成果/IB LEARNER PROFILE

Marist expectations は、生徒の行動や交流のガイドラインであり、下記のように記されています。Marist expectationsは、国際バカロレアの Learner Profile から派生したもので、MontessoriからGrade 12までを通じて育成される特性となるように、設計されています。

- **Inquirers (探求者)**: は、生徒の行動や交流のガイドラインであり、下記のように記されています。
- **Knowledgeable (知識欲のある人)**: : 私たちは、知的、身体的、芸術的に成長するよう、努力します。
- **Thinkers (コミュニケーター)**: : 常に論理的、道徳的、創造的な思考をします。
- **Communicators (コミュニケーター)**: : 多言語環境において、自信と礼儀をもって協力し合います。
- **Principled (責任ある人)**: 自らの行動に責任を持ち、誠実さ、正直さ、謙虚さによって信頼を築きます。
- **Open-Minded (広い視野を持つ人)**: 他の文化や考え方に対する理解を深め、その理解を深めるように努めます。
- **Caring (思いやりのある人)**: 私たちは、学校内外のコミュニティに思いやりを持って接します。
- **Risk-Takers (失敗を恐れない人)**: 積極的に挑戦し、未知の世界へ飛び込む勇気を持ちます。
- **Balanced (バランスが取れている人)**: 豊かな人間性を育むために、心・身体・精神のバランスを保つように努めます。
- **Reflective (自省的な人)**: 過去の経験を将来の行動の指針にします。

コミュニティ

マリストブラザーズインターナショナルスクールは、ダイナミックで献身的、そして多様なコミュニティの中心です。須磨にある当校は、アウトドアを楽しむ多くの機会を設けると同時に、成長と発展のための安全な空間でもあります。生徒の国籍は30カ国にも及び、私たちの思いやりのあるコミュニティは、新入生やご家族がMBISにスムーズに馴染めるよう、サポートしております。学校内の多様性と一体性のモデルは、すべての子どもたちが帰属意識を持つのに役立っております。



教職員



40人

常勤教員



15 years 年

平均教務歴



12 years 年

続年数



22名

修士号習得者

MBISでは52名の教職員が勤めており、以下のようなメンバーでございます：

- ・ 学校長 1名
- ・ 教頭 1名
- ・ 幼初等科主任 1名
- ・ 人事・財務マネージャー 1名
- ・ オペレーション・マネージャー 1名
- ・ 進路指導教員 1名
- ・ スクールカウンセラー 1名
- ・ IB DP コーディネーター 1名
- ・ 常勤の専門教員 40名
- ・ 常勤のMontessoriアシスタント 3名
- ・ 司書 1名、及び司書アシスタント 1名
- ・ 幼初等科事務管理アシスタント 1名
- ・ 事務管理アシスタント・レジストラー 1名
- ・ 会計スタッフ 1名
- ・ 用務員 1名
- ・ ビルメンテナンス係 1名
- ・ IT専門スタッフ 1名
- ・ 医務スタッフ 1名
- ・ また、本校は医師と弁護士と契約を結んでおります。
- ・ 全校の教員:生徒の比率は約1:8です。



職員の50%がMBISで7年以上勤めており、25%が新しく勤務します。

学生データ

学校全体

2022年度卒業クラス



preK-12年生までの人数: 353名



30カ国以上



9-12年生までの人数: 110名



フルディプロマ候補生: 8名



8つの国籍から11名



7カ国の大学から合格通知 countries

2023年度卒業クラス

フルディプロマ候補生: 25名

コースカテゴリー候補生: 1名

バイリンガルディプロマ候補生: 15名

高校卒業資格取得者数: 3名

12年生クラスの国籍数: 8カ国 (日本、インド、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、エチオピア、チェコ共和国)

大学合格数: 42校

大学合格国: 5カ国 (日本、アメリカ、カナダ、イギリス、オランダ)



PTA

Parent Teacher Association (PTA) は、保護者、職員、生徒と協力し、コミュニティ全員の学校生活を豊かにすることを目的とした組織です。PTAの役割とは人と人をつなぎ、楽しいアクティビティを通じて団結力を高め、情報を発信していくことです。PTAは、様々な国やバックグラウンドから来るご家族や、異なる年齢グループのご家族などが定期的に交流できるイベントを運営しております（コーヒーフタヌーン、学年別集会等）。



また、PTAの活動で資金を調達することにより、楽しみながら人と人を結ぶ機会にもなっております。Bulldog Bingo Night Fundraiser, Movie Night, Futsal Snack Sales、そしてマリスト・フード・フェア等が挙げられます。集めた資金をもとに、PTAはMBISの生徒の学校生活をより充実させるために、補助金を支給しております。

また、PTAは保護者の方とスタッフとのコミュニケーションの橋渡しの役目を担っており、定期的なミーティングやイベント、教師をはじめとする学校関係者への感謝の気持ちを表す言葉など、学校を素晴らしい教育的・人間的に成長できる環境にしています。

2023年4月には、PTA、卒業生、学校コミュニティが協力してマリスト・フード・フェアを開催しました。本イベントは、マリストコミュニティの皆様が集まり、国際感覚、多様性、共通の価値観を祝う ONE SCHOOLアプローチを促進することを目的としました。

総収入: 2,642,579円
 総支出: 788,960円
 合計収支: 1,793, 619円

Organization	売り上げからの収入	支出額	調達した資金
MBIS	237,500 円	591,037 円	-293,537円
PTA	1,541,179 円	557,412 円	983,767円
Alumni	264,900 円	0 円	264,900円
Turkish Ice Cream	180,700 円	49,729 円	130,971円
NHS/MHS	46,800 円	12,809 円	33,991円
STUCON	285,300 円	49,451 円	235,849円
MAA	75,500 円	6,185 円	69,315円
MUN	10,700 円	3,374 円	7,326円
	2,642,579円	1,269,997 円	1,372,582円

Bulldog Bingo Night Fundraiser と Movie Night - 234,000円	High School Promへのサポートとして、50,000円の寄付
---	--------------------------------------



卒業生

MBISの卒業生は、本校にとっての最高の代表であり、本校の優れた教育を証明しております。私たちは、彼らの大小様々な功績と、日本だけでなく世界中に与えたポジティブな影響が何よりの誇りです。

フード・フェアは、毎年恒例の卒業生とのミニ同窓会であり、年間を通じて卒業生の訪問を楽しんでいます。

Marist Alumni Association (MAA)に参加することで、卒業生は同級生たちと連絡を取り合ったり、MBISの最新情報を受け取ることができます。



ガバナンス

理事会

Jun Yamaguchi
理事長および財務部委員長

Shawn Hutchinson
学校長

Patrick Judge
戦略的計画部委員長

Kimie Hirano
エンゲージメント部委員長

Kina Jackson
秘書および人事部委員長

Sachin Bennur
会計担当および理事開発・政策部委員長

評議員会

Cyd Spanring-Forster

Sandra Healy

Fazil Toorabally

Angela Troianos

Geo Otsu

Taro Bhasin

Gentaro Matsumoto

Palak Chudgar

Mark Selzer

Mark Pilgrim

監査役会

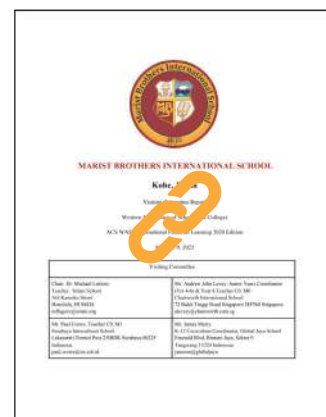
Maya Ito

Yuuka Shibayama



認定・評価

マリストブラザーズインターナショナルスクールは、世界的に有名な Western Association of Schools and Colleges、そして IBO World School の認定・評価を受けております。WASC は、カリフォルニア州に拠点を置く認定機関（米国に6つある地域機関のひとつ）で、米国内はもとより世界中の学校と連携し、生徒が充実した質の高い教育を受けられるように努めております。さらに、MBIS は IBO ワールドスクールとして、国際的に権威のある「国際バカロレアプログラム」を提供する認可を受けております。



国際バカロレア® は、探究心、知識、思いやりのある若者を育成し、異文化理解と尊重を通じて、より良い平和な世界の創造に貢献することを目的としております。そのために、学校、政府、国際機関と協力し、国際教育および厳格な評価に関する挑戦的なプログラムを開発しております。これらのプログラムは、世界中の生徒が積極的で思いやりのある、生涯学習者になることを奨励し、他人と違いがあっても正しいこともあるのだと理解できるようになります。

さらに、MBIS は東アジア地域学校評議会 (EARCOS: 地域全体で160校以上の加盟校を持つ組織) および日本インターナショナルスクール協議会 (JCIS: 日本国内のインターナショナルスクールによる共同・協調ネットワーク) のメンバーであり、支援しております。

本校の生徒が世界中の大学やカレッジに進学できるのは、本校が認定を受け、優れた教育を目指し、実践しているからです。私たちは、単に優れた教育機関に合格するだけでなく、私たちの卒業生が将来成功するために十分な準備をしていることを経験的に熟知しております。



IB PYP & MYP へ向けて

2023年8月1日

PYP/MYP候補校として出願

28日以内に審査されます

4年8月

候補校としての1年開始

2023年9月

校内にてPYP・MYPワークショップ

2023年8月から2024

コンサルタントが学校に配属される

学校は、必要な研修の完了を含む、認可のために必要な事項に取り組む。

2024年5月

2日間

相談訪問

(コンサルタントと
相談)

2024年7月

2024年6月 学校からコンサルト

コンサルト相談終

了依頼

終了報告書受理

2024年8月

2年目の導入開始

Trial Teachingの

継続

2025年3月

認可申請書の提出

2025年1月

認可申請書の提

出準備を行なう理

2024年8月まで
コンサルタントが学校に派遣される。

認可申請書を発行するためには、1年の試用期間が必須(その他、研修などの重要事項はすべて完了する必要がある)。



生徒組織

Student Council

Student Councilは、民主的に選出された生徒主導の組織です。Elementary SchoolとUpper Schoolとで分かれています。どちらでも生徒が代表的な役割やリーダーシップを発揮する機会を与え、生徒たちと協力し、学校行事を企画・運営し、学校精神を促進し、学校をより良い場所にするを目的としております。

Marist Athletic Association

Marist Athletic Associationは、マリスタのアスレチックプログラムと学校の精神を促進する役割を担っております。MAAは、学校で開催される試合やトーナメントの準備、設営、運営等を行います。これらのイベントでは、ラインズマン、スコアキーパー、タイムキーパー、審判、フィールドやコートの管理等、様々な役割で活躍します。MAAは、校内のプログラムや、学年末のゲーム、バーベキュー、athletic assembly等、様々なイベントを企画しています。

Mr. Junya Kobo (Athletics Director, Grade 7 ホームルーム、IB DP数学担当教諭)がこのたび2022-2023年度をもって退職することとなりました。Mr. Koboは本校で28年間教え、長年にわたり、これまでに多くの役割を担ってきました。1995年に着任し、数学、物理、体育を指導した後、Athletics Programを25年間担当してきました。Mr. Koboはマリスタコミュニティだけでなく、他の国際学校のネットワークでも広く尊敬されています。彼がマリスタのコミュニティに与えた影響は大きく、今後何年にわたっても彼の影響力は変わらず生徒や教職員を突き動かすことでしょう。Mr. Koboの最大の魅力は生徒第一という強い気持ちと、生徒たちにマリスタの価値観を浸透させる力です。彼がマリスタ内外で行ってきた仕事はいつも生徒のためであり、私たちが全員手本にすべき行動です。私たちは、Mr. Koboの今後の成功を心から祈るとともに、2人の娘さんたち(Kasumi 2018年、Naomi 2021年)とこれからももっと一緒に過ごせる時間が増えることを、願っております。



National Honor Society

Marist NHSのモットー: Delectet te tibi que satisfaciat ab una actione, quae societati prodest, transire ad aliam ejusdem generis, memorem de

神を常に念頭に置きながら、一つの奉仕から次なる地域への奉仕へと受け継がれていくことを、あなたの唯一の喜びとしましょう。- Meditations of Marcus Aurelius 6.7



National Honor Society (NHS) は、優秀な高校生を表彰するために設立された、アメリカで最も優れた学術団体の1つです。NHSは単に成績優秀者を表彰するだけでなく、学業、リーダーシップ、奉仕、人間性の各分野で力を発揮した生徒を称える役割を担っています。これらの特性は、1921年の設立以来、NHSと深く結ぶついてきました:

5



奉仕:この特性は、生徒が学校や地域社会に対して、無償で積極的、礼儀正しく、熱心な精神をもって行なう自発的な貢献によって定義されます。

リーダーシップ:生徒のリーダーシップとは、知識経験に富み、優れた問題解決能力を持ち、学校行事を推進、アイデアを提供したり、頼りになり、人生に対する前向きな姿勢を模範とする人である。リーダーシップの経験は、学校、または地域社会の活動で、他者とともに、あるいは他者のために働くことから得ることができます。

品格:善良な生徒は、道徳と倫理の原則を守り、協調性を持ち、高い水準の誠実さと信頼性を示し、礼儀正しく、他人を気遣い、尊重し、一般的に善良で清潔な生活様式を維持する。

社会の一員としての自覚を持つ:社会の一員としての自覚を持つ生徒は、団体活動の重要性を理解し、自由、正義、民主主義を高く評価し、スカウト活動、地域団体、学校のクラブ等の活動に積極的に参加し、責任を持って行動します。

マリストブラザースインターナショナルスクールは、神戸のホームレスへの給食支援、神戸グローバルチャリティーフェスティバルでの活動、経済的に恵まれない人々の教育を支援するために、アジアの学校のための募金活動、ピアチューター、学校コミュニティサービスのためのボランティア等、様々な方法で学校とコミュニティの両方に貢献しています。

MBIS Model United Nations (MUN)

MBIS Model United Nations (MUN) プログラム及び総会は、1986年以来、当校の学業的なイベントの代表です。日本で最も長く続いている模擬国連であり、認知度も高く、通常、国内外のインターナショナルスクールから100人以上の代表者が参加しております。総会は、定期的に地元や国内のメディアの注目を浴びています。社会科のカリキュラムの一環として、生徒たちは年間を通じて会合を開き、現在の国際問題について議論しあい、決議文の作成、議会議事録の作成、議員集会の開催、ディベート等の基本的なスキルに加え、紛争解決、妥協、メディアリテラシー等の重要スキルを学びます。

選抜された生徒は、毎年開催される総会に国家の代表として参加します。生徒は、代表する国家の社会、政治、経済状況について調べ、国際社会におけるその国独自の役割や目的について理解し、準備をします。総会は2月に開催され、3日間の日程で集中的に行われます。生徒たちは国の代表として話題性の高い問題を議論し、代表国のニーズと世界全体の包括的なニーズとのバランスを保つことに努力します。様々な問題を解決し、ストレスの高い緊急事態にも直面します。代表してではなく、地域議長や議会委員会メンバーとして議論を統括することもできます。優秀な参加者は、集会の最後に表彰され、功績を称えられます。MBISのMUNは、アジア太平洋地域で開催される大規模なMUNで成功するための重要な基礎となるもので、本校の代表団が定期的に参加しています。保護者の方々の参加も歓迎いたします。生徒の才能、スキル、知識を披露する場として、常に注目されています。



理事会

理事会の各委員会は、理事会の活動に貢献し、支援し、更なる議論と発展のために理事会に提言を行なうという重要な役割を担っております。委員会は、委員長を務める理事会メンバーの他、他の理事会メンバーで構成されます。常任委員会のメンバーには、学校長が推薦する1名以上の管理職、あるいは職員が含まれる。的々できる委員会参加を約束する韓信のある教職員や保護者の方のボランティア、あるいは特別なスキルや経歴を持つその他の人物も、委員会委員長が常任委員として任命することができ、学校の職員や理事会のメンバーである必要はありません。理事会議長と学校長は、全ての委員会の常任メンバー（職権）として活動することができ、全ての会議がいつ開催されるか知っていなければならない。学校コミュニティの他のメンバーは、委員会のミーティングに参加することができます。ただし、議論される事項が機微な内容であったり、外部関係者との金利的利害に関わる事項である場合、委員長は参加を制限することができます。

理事会開発・政策委員会

理事会の方針・開発委員会は、MBIS理事会の方針と手続きが、兵庫県や私立学校法等の公式ガイドラインに沿ったものである事を保証します。委員会は、現在のMBISの方針を見直し、必要に応じてこれらのガイドラインに準拠した新しい方針の策定や既存の方針の更新を行います。また、委員会は、理事会の変化するニーズのために新メンバーを継続的に探し、申請と入会に必要な書類を送ります。オリエンテーションを開催したり、理事会の発展のための研修を提案することもあります。

委員会は、理事会方針マニュアルを寄付と、日本の私立学校法に合わせる事を目的として、集中的に見直しました。委員会は、マリスタのコミュニティのメンバーと連絡を取り合い、理事会の役職の推薦を求めることに努めました。

戦略的計画委員会 (SPC)

SPCは、学校の長期的な成功に関わる課題に取り組むために会合します。私たちは、学校長と理事会に関連する様々なタスクを支援する事を任務としております：(1) 目標とミッション・ステートメント、(2) 運営に関する複数年計画の策定と微調整、(3) キャンパスの施設計画及び開発に関連する様々な課題について。私たちは、グループ、あるいはより小さなワーキンググループで定期的に会合を開いております。



人事委員会

委員会は、学校長の業績を評価する上で理事会をサポートすることを目的として「学校長年時評価計画」を策定しました。学校長は責任を持って学校を管理し、意欲的な目標を設定し、その目標を達成することに努めます。理事会は、学校長が定めた目標を達成できたかどうかを確認し、フィードバックを行い、改善をサポートする責任があります。

人事委員会は、学校長、理事会/評議会及びMBISコミュニティの他の利害関係者の間で、学校長の改善目標を評価します。人事委員会は、キャンパス内の他の雇用に関する事柄は扱いません。委員会は全メンバーで構成され、学校長と協力して目標を設定し、多面評価を実施します。必要に応じて理事や評議員の報酬等、他の問題を扱う小委員会を設けることもあります。

年次レビューのプロセスには、以下のステップが含まれます：

- スマートゴールの設定
- 中間レビューとフィードバック
- データ収集とレビュー
- 学校長の自己評価
- 年度末のレビュー
- 理事会のレビューとディスカッション

財務委員会

財務委員会は、学校の財務を監視することを任されています。委員会は、学校が遭遇する主要な財務上の決定について、情報を収集し、勧告を行います。委員会はまた、今年度の予算から実績までのレビューを通じて、学校の継続的な財務状況を監視します。委員会のその他の責務には、次学年の授業料の見直し、教員給与水準の年2回の見直し、大規模支出の見直し、1年、あるいは中間運営予算に関する議論と提言が含まれます。財務委員会は、年間収支、資産、負債、資本の概要を含む年次理事報告書に貢献します。

委員会は、会計年度と会計年度の財務報告、営業予算と資本予算、予算予測、キャンパス再開の予算と長期予測について、さらに明確にするために取り組みました。

エンゲージメント委員会

エンゲージメント委員会は、MBISの内部及び外部との関係に関連する問題を検討、評価、推進する戦略的フォーラムとして機能します。これには、教職員のイニシアチブ、卒業生、PTA、地方自治体、地域社会パートナー企業、政策立案者、メディア、一般市民との関わりに関する学校の実践と方針が含まれます。



1. 現在のコミュニケーションとエンゲージメントの取り組みにおける差を特定し、理事会に提言をもたらす。
2. WASC及びIBの認定・評価プロセスに関する情報を収集し、理事会で共有する。
3. 内部及び外部の関与活動（学校行事、認定委員会）への理事会メンバーの参加を促進する。
4. 卒業生とPTAの参加者を増やすためのコミュニケーション方法を開発し、提案する。
5. 学校のためになる推進活動への助言と支援を提供する。
6. 募金活動、特別プロジェクト開発、コミュニケーション、卒業生関連等、学校の行事を特定する
7. 地域、国内、国際的なコミュニティとの連携を図り、学校とのパートナーシップを育み、積極的な関係を築く。
8. 適した理事会メンバーの時間、資金、能力を活用して、以下の行事に動員する：
 - 資金調達、マーケティング、ブランディング、コミュニケーションイニシアチブ
 - 卒業生、教職員、生徒との交流と支援
 - パートナーシップについて追求
 - 政府関連
 - 地域社会との関係



数値データ

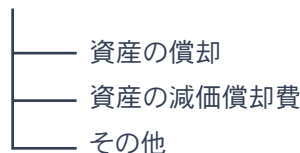
予算報告書

MBISは非営利の学校であるため、全ての剰余金が再投資されます。長年にわたり積立金を積み上げることができ、結果として施設の改善を行うことが可能となりました。私たちは土地を所有しており、負債がありません。

資産価値: 955,167,302円

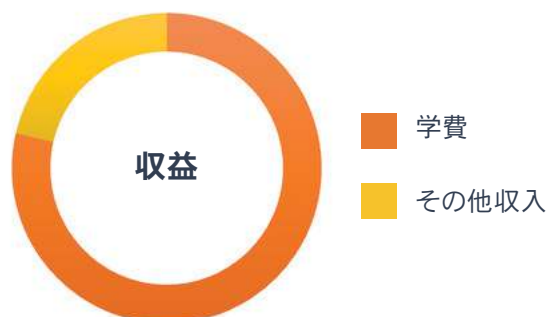
資金収支: 787,143,553円

減価償却費: 45,053,127円



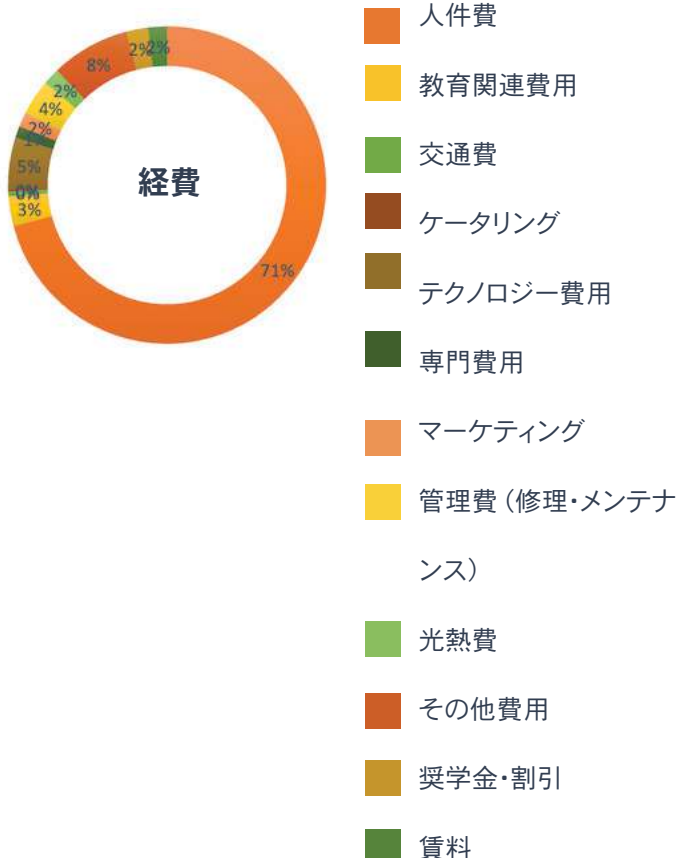
収入

学費	518,084,980円
その他収入	140,964,996円
総額	659,049,976円



経費

人件費	445,640,597円
教育関連費用	19,456,017円
交通費	3,014,339円
ケータリング	1,479,376円
テクノロジー費用	33,233,459円
資本金・費用	7,236,644円
マーケティング費用	9,471,848円
管理費(修理・メンテナンス)	22,767,667円
光熱費	10,637,058円
その他費用	50,425,408円
奨学金・割引	14,158,104円
賃料	12,000,000円
合計	629,520,517円



CAMPUS REDEVELOPMENT PROJECT

JLL Corporate Overview

JLL is a global professional services and investment management firm specialising in real estate. Our expert teams look beyond the present to deliver integrated services that help real estate owners, occupiers, and investors achieve their business ambitions.



Company Name	Jones Lang LaSalle K.K.	Headquarters	200 East Randolph Drive, Chicago, IL 60601, USA
Headquarters	Prudential Tower 2-13-10 Naga-tacho, Chiyoda-ku Tokyo	Group Company	LaSalle Investment Management, Inc.
President and CEO	Christian Ulbrich	Employees	1,000 (Approximate figure, as the end of April 2021) *Including group companies
Chief Executive Officer	Toshinobu Kasai	Capital	JPY 195 million
Employees	1,000 (Approximate figure, as the end of April 2021) *Including group companies	Related Companies	Jones Lang LaSalle Constructions K.K. JLL Mall Management K.K. JLL Morii Valuation & Advisory K.K.
License	Real Estate Transactions License : (4) No.7120, Ministry of Land, Infrastructure and Transport and Tourism, Real Estate Appraiser Registration: (4) No.1741, Tokyo Metropolitan Office General Real Estate Investment Advisers Registration: No.670, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Financial Instruments Business Registration (Investment advisory and agency business, Type 2 Financial Instruments Business) : No.1317 (Financial Instruments),, Kanto Local Finance Bureau, Security Services: No.30003396, Tokyo Metropolitan Public Safety Commission		

 in over 80 Countries (As of March 2021)	 Revenue : USD 16.6 billion (FY2020)	 Worlds Most Ethical Companies® 2008 - 2021	 Fortune World's Most Admired Companies 2008 - 2020	 Fortune 500 2015-2019
 Employee : over 91,000 (As of March 2021)	 2020 Total Square feet under management : 5.4 billion square feet (501.68 million square meters)	 Global Outsourcing 100 2009 - 2021	 Energy Star Sustained Excellence 2012-2019	 100 Best Corporate Citizen 2016 -2018



Project Team

JLL team: Project Management



Executive Oversight
Manabu Kojima
General Manager



Project Lead & POC
Tomoko Suzuki
Overall Project Management
North building



Project Oversight
Mio Takei
Group Head



Project Manager
Seung Jun
West building/
Documentation/Data Control
/Administration



Client Relations
Ody Markezinis
Head of Sales



Construction Management
Ikuya Kakii
Overall Construction
Management
North building
/West building

PCKK team: North Building & Central Building Architect



Project Manager & POC
Satoko Seino
General Manager



School Design Advisor
Masaru Tezuka



Design Manager
Soichiro Ando
General Manager



Lead Architect
Kenta Yakushi

MEP Lead
Akihiro Yamada



Structure Lead
Hironori Shibayama

GC for West Building (TBD)



No.1 General Consulting firm

Leading the industrial and urban development of Japan and abroad since 1951.



2,100+ Employees



JPY 55.3 Billion (2021)



4,000+/year

71 years of experience since 1951



Tokaido Shinkansen



Tanegashima Space Center



Kyoto Mechanism Project



Re-expansion of Tokyo international airport

1961

1963

1988

1997

2002

2004

2009

2011

Tomei Highway



Tomei Highway



The metropolitan area outer underground discharge channel



Shibuya Redevelopment Project



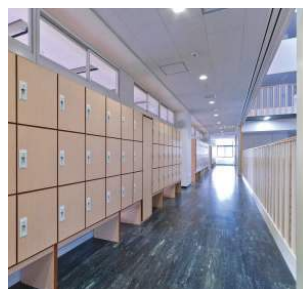
Tohoku Reconstruction Project



Design Achievements



Karasuyamakita Elementary School
Tokyo, 2012
Elementary School
RC
3 floors, 7,206M²



Seian High School
Shizuoka, 2013
High School
SRC
3 floors, 12,000M²



Project Objective

1. **Redevelopment of Campus** - To meet school blueprint, 100 years of serving the local and international community.
2. **Provide Safe and Healthy Learning** - For students, teachers and parents.
3. **Campus for 512 Students** - Plan sufficient capacity and function for 512 students with teachers by 2028 to meet re-growth plan of the school.



Campus Master Plan- Vision and Goals

Vision **Sustainable, Functional and Accessable Campus**
As a leading international school in west Japan and to ensure a sustainable future.

Function

- Personalized learning spaces with a feeling of a 'second home'
- Flexible and easy access to resources
- Space to encourage collaboration and communication
- Space to foster relationships with a sense of family and can accommodate different activities
- A smooth flow between areas/spaces

Form

- Nurturing community for meaningful connections
- Diversity with expressions of difference & unifying traditions
- Horizontal organization with managerial autonomy, section/department self-managed teams
- Privacy, Health, Safety and Security for students, parents, staff, faculty, board, and contractors

Economy

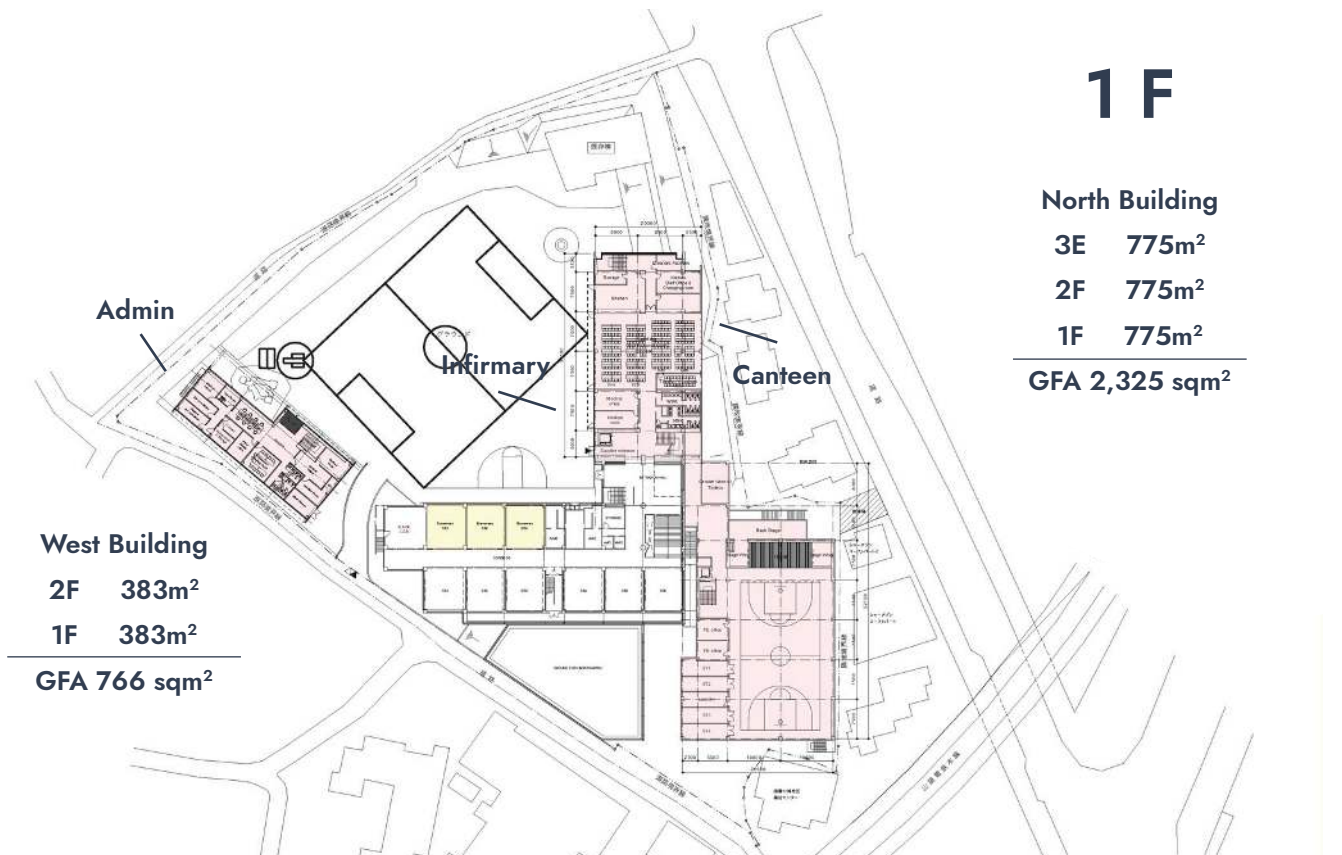
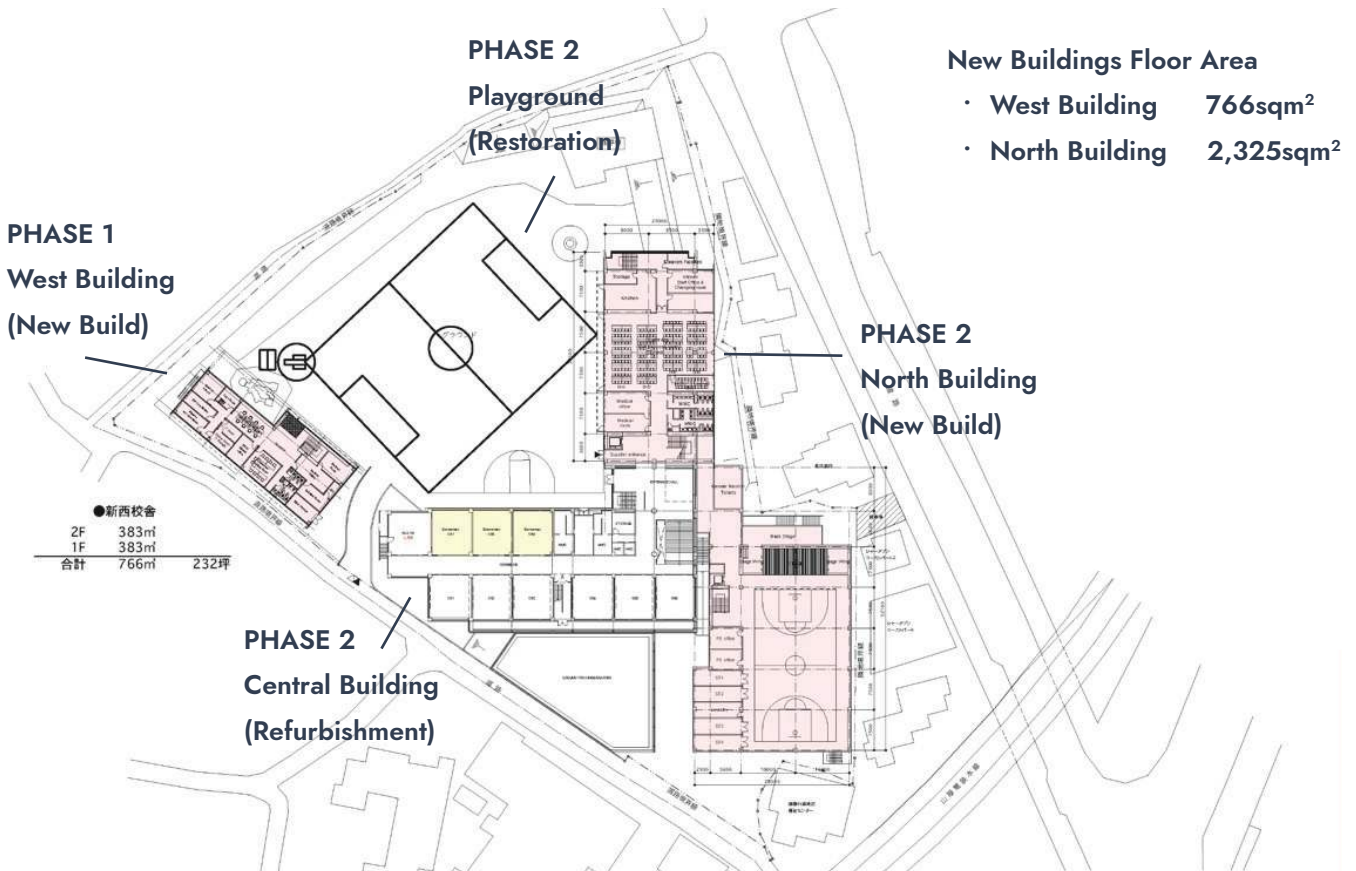
- Affordable cost in Phases
- Develop an environmentally sustainable campus
- Strong partnerships with parents and the local community

Time

- Future focused place that is innovative, flexible, and adaptable



CAMPUS MASTER PLAN

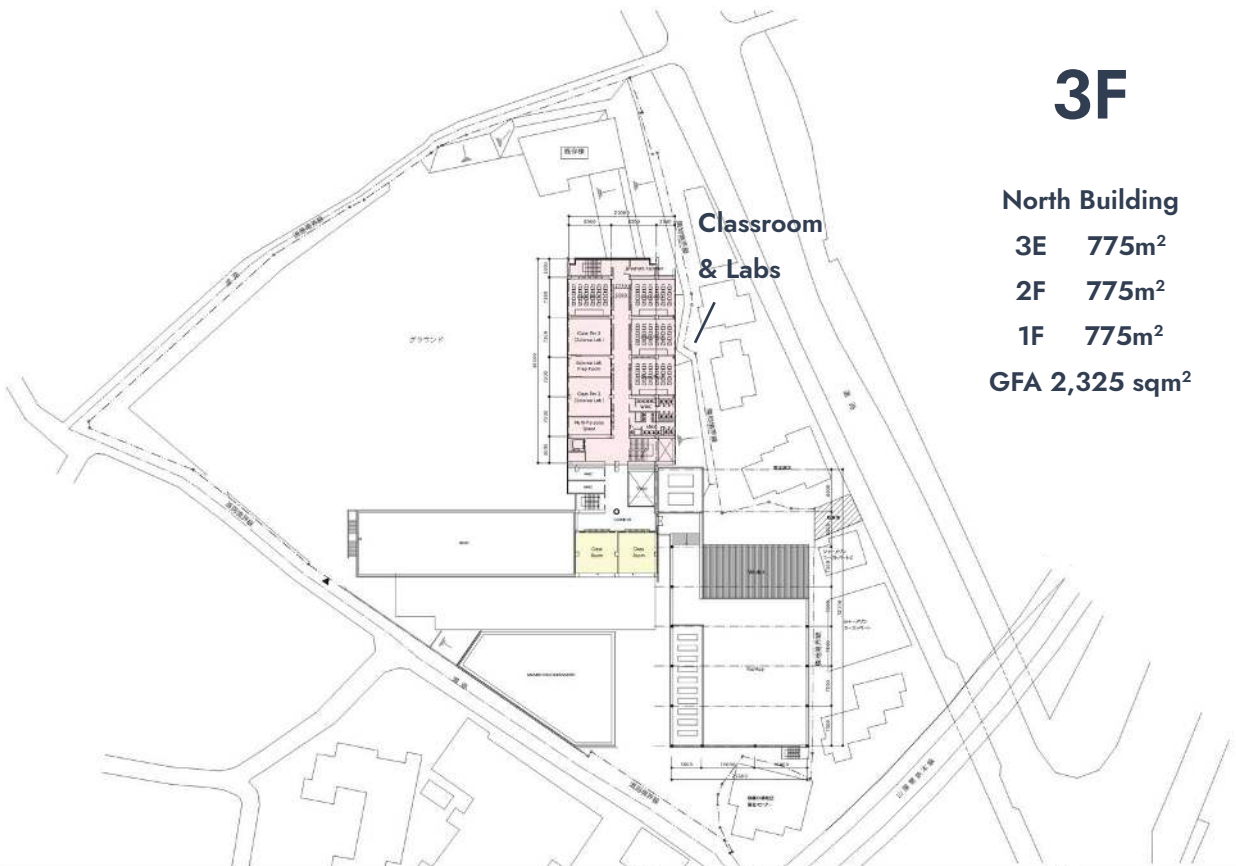




2F

North Building
 3E 775m²
 2F 775m²
 1F 775m²
GFA 2,325 sqm²

West Building
 2F 383m²
 1F 383m²
GFA 766 sqm²





3F

North Building
 3E 775m²
 2F 775m²
 1F 775m²
GFA 2,325 sqm²



PROJECT SCHEDULE

YEAR	PHASE	2023				2023				2023			
		JAN	AP	JUL	Oct	JAN	AP	JUL	Oct	JAN	AP	JUL	Oct
West Building Design/Construction	Phase 1												
North Building Design/Construction	Phase 2												

Disclaimer: This is the proposed schedule and may be subject to change.

 Design  Build

1. History

Motivation to honor the Marist tradition and be inspired by the past



Extension Building for the New History with the Inheritance of Marist Brothers' Legacy

2. Unity

Believe in yourself and know that your community will support you to succeed



Interior Design with Sense of Unity

3. Sense of Belonging

Spaces designed to bring people together



Placemaking Design for Creating Diverse Communication



Rendered Image - West Building

*The rendered image of the west building is based on the concept design and it is subject to change.



Rendered Image - North Building facing to playground

*The rendered image of the north building is based on the concept design and it is subject to change.



Rendered Image - North Building facing to playground

*The rendered image of the north building is based on the concept design and it is subject to change.



Rendered Image - West Building facing to playground

*The rendered image of the west building is based on the concept design and it is subject to change.